

番号	C初期アウトカム	C初期アウトカム指標
1	危険因子の知識を普及させる。	①C101情報媒体（TV、新聞、ラジオ、インターネットなど）を利用した危険因子・脳卒中予防に関する知識普及活動の実施件数（オプション） ②C102教育機関（小学校、中学校、高校、大学など）における危険因子・脳卒中予防に関する教育実施件数（オプション） ③C103医療従事者に対する危険因子・脳卒中予防に関する知識普及活動の実施件数（オプション） ④C104市民公開講座などによる市民に対する危険因子・脳卒中予防に関する啓発活動件数（オプション） ⑤C105食事：1.食塩摂取量、2.野菜・果物の摂取量 ⑥C106運動：1.一日の歩数、2.運動習慣者の割合、3.適正体重を維持している者の割合（～69歳の肥満者の割合） ⑦C107飲酒：生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合（都道府県レベル調査、オプション） ⑧禁煙：1.C108禁煙外来を行っている医療機関数、2.C109ニコチン依存管理料を算定する患者数
2	特定健診の内容を見直す。 特定健診・特定保健指導を受けることができる。	①C201特定健診で心電図検査を行う市町村数（オプション） ②C202情報媒体（TV、新聞、ラジオ、インターネットなど）を利用した特定健診の受診勧奨の実施件数（オプション） ③C203検診・特定保健指導受診勧奨の実施件数（オプション） ④C204市民公開講座などによる市民に対する特定検診・特定保健指導受診勧奨の啓発活動件数（オプション） ⑤C205特定保健指導対象者数・修了者数
3	再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理、合併症への対応が可能な体制が整備されている。	①C301訪問看護を受ける患者数 ②C302在宅患者訪問薬剤管理指導を受ける患者数
4	初期症状出現時における適切な対応について本人および家族等が理解している。	①C401初期症状と適切な対応について知っている住民数（都道府県によるアンケートなど）（オプション） ②C402情報媒体（TV、新聞、ラジオ、インターネットなど）を利用した脳卒中の初期症状（FASTなど）と適切な対応についての知識普及活動の実施件数（オプション） ③C403教育機関（小学校、中学校、高校、大学など）における脳卒中の初期症状（FASTなど）と適切な対応についての教育実施件数（オプション） ④C404市民公開講座などによる市民に対する脳卒中の初期症状（FASTなど）と適切な対応についての啓発活動件数（オプション）
5	突然の症状出現時に急性期医療を担う医療機関への受診勧奨指示ができる。	①C501脳卒中を診療している医療機関数 ②C502脳卒中疑いに対する1回目での救急応需率（オプション）
6	救急隊が、地域のメディカルコントロール協議会が定める活動プロトコルに沿って適切な観察・判断・処置ができる。	①C601脳卒中に関する活動プロトコルを策定している救急隊管轄医療圏数（オプション） ②C602救急隊への脳卒中教育（Prehospital Stroke Life Supportなど）の実施件数（オプション） ③C603脳卒中評価スケールを導入している救急隊管轄医療圏数（オプション）
7	急性期医療を担う医療機関へ迅速に搬送できる体制が整っている。	①C701ドクターヘリによる脳卒中患者の搬送件数（オプション） ②C702脳血管疾患により救急搬送された患者の圏域外への搬送率
8	脳卒中の急性期医療に対応できる体制が整備されている。	①C801神経内科専門医師数 ②C802神経内科医師数 ③C803脳神経外科専門医師数 ④C804脳神経外科医師数 ⑤C805脳卒中専門医師数 ⑥C806脳卒中リハビリテーション認定看護師数 ⑦C807脳卒中を診療している医療機関数 ⑧C808脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施可能な病院数 ⑨C809脳卒中集中治療室加算を有する病院数・病床数（オプション）
9	誤嚥性肺炎・深部静脈血栓症等の合併所の予防及び治療が行える体制が整備されている。	①C901摂食機能評価チームが配置されている医療機関数（オプション） ②C902栄養サポートチーム加算（歯科医師連携加算）可能な医療機関数（オプション） ③C903脳卒中患者に対する深部静脈血栓症リスク評価体制が整備されている医療機関数（オプション）
10	廃用症候群を予防し、早期に自立できるリハビリテーション実施体制が整備されている。	①C1001リハビリテーションが実施可能な医療機関数 ②C1002理学療法士数、作業療法士数、言語聴覚士数 ③C1003脳卒中リハビリテーション認定看護師数 ④C1004リハビリテーション早期評価と開始をしている医療機関数
11	回復期の医療機関等との連携体制が構築されている。	①C1101脳卒中の地域連携バスを運用している医療機関数
12	専門医療スタッフにより集中的なリハビリテーションが実施可能な医療機関が整備されている。	①C1201回復期リハビリテーション病床数 ②C1202理学療法士数、作業療法士数、言語聴覚士数 ③C1203リハビリテーション学会専門医数（オプション） ④C1204休日にリハビリテーションを実施している施設数（オプション）
13	再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理、合併症への対応が可能な体制が整備されている。	①C1301脳卒中リハビリテーション認定看護師数
14	誤嚥性肺炎等の合併症の予防および治療が行える体制が整備されている。	①C1401摂食嚥下療法を実施している医療機関数（オプション）
15	急性期および維持期の医療機関や施設、地域の保健医療福祉サービスとの連携体制が構築されている。	①C1501脳卒中の地域連携バスを運用している医療機関数 ②C1502外来リハビリテーションが実施可能な医療機関数（オプション） ③C1503医療ソーシャルワーカー数
16	生活機能の維持・向上のためのリハビリテーション、支援が提供される体制が整備されている。	①C1601リハビリテーションが実施可能な医療機関数 ②C1602外来リハビリテーションが実施可能な医療機関数（オプション） ③C1603訪問リハビリを提供している事業所数 ④C1604通所リハビリを提供している事業所数 ⑤C1605老人保健施設定員数 ⑥C1606介護保険利用者数（利用件数）（オプション）
17	誤嚥性肺炎等の合併症の予防および治療が行える体制が整備されている。	①C1701訪問歯科衛生指導を受ける患者数 ②C1702在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導件数（オプション）
18	回復期および急性期の医療機関等との連携体制が構築されている。	①C1801脳卒中の地域連携バスを運用している維持期医療機関数（オプション） ②C1802脳卒中の地域連携バスを運用している事業所数（オプション） ③C1803入院退院支援を行っている医療機関数

番号	B中間アウトカム	B中間アウトカム指標
1	【予防】 基礎疾患および危険因子の管理ができています。	①B101喫煙率 ②B102ハイリスク飲酒者の割合 ③B103健診受診率 ④B104高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率 ⑤B105脂質異常症患者の年齢調整外来受療率 ⑥B106特定健診受診者のうちメタボリックシンドローム該当者数・予備群者数 ⑦B107糖尿病患者の年齢調整外来受療率 ⑧B108塩分摂取量の減少
2	【救護】 患者ができるだけ早期に専門医療機関へ搬送される。	①B201救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間 ②B202脳血管疾患により救急搬送された患者数
3	【急性期】 発症後早期に専門的な治療を受けることができる。	①B301脳卒中（発症7日以内脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）診療患者数 ②B302 くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数 ③B303くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の実施件数
4	【急性期】 発症後早期に専門的な治療・リハビリテーションを受けることができる。 脳血管疾患患者の入院期間が改善している。	①B401脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施件数 ②B402脳梗塞に対する脳血管内治療（経皮的脳血栓回収療法等）の実施件数 ③B403脳卒中患者に対する嚥下機能訓練の実施件数（加算件数） ④B404脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数 ⑤B405退院患者平均在院日数
5	【回復期】 身体機能の早期改善のための集中的リハビリテーションを受けることができる。 脳血管疾患患者の入院期間が改善している。	①B501脳卒中患者に対する嚥下訓練の実施件数（加算件数） ②B502脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数 ③B503FIM効率（努力目標、オプション） ④B504退院患者平均在院日数
6	【維持期・生活期】 日常生活への復帰、生活機能維持・向上のためのリハビリテーションを受けることができる。	①B601訪問リハビリを受ける利用者数 ②B602通所リハビリを受ける利用者数 ③B603脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数

番号	A分野アウトカム	A分野アウトカム指標
1	脳卒中の発生が減少している。	①A101脳血管疾患受療率（入院・外来）（人口10万人対） ②A102脳卒中（発症7日以内脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）診断患者数（人口10万人対）
2	脳卒中による死亡が減少している。	①A201脳血管疾患の年齢調整死亡率 ②A202脳卒中標準化死亡比（脳出血・脳梗塞・全体）
3	脳血管疾患患者が日常生活の場で質の高い生活を送ることができる。	①A301在宅等生活の場に復帰した患者の割合 ②A302健康寿命と平均寿命の差 ③A303tPAまたは経皮的脳血栓回収療法を受けた患者のうち90日mRS0-2の件数

